



救急救命訓練（生名）



陸こう閉鎖訓練（岩城）



救急救命訓練（岩城）



縄ばしごによる避難訓練（生名）



防災〇×クイズ（弓削引野）



放水訓練（弓削佐島）



災害伝言板体験（生名）



机上訓練（弓削総合支所）



生活環境課による上水道施設の点検（弓削）



魚島診療所・五嶋医師による講習（魚島総合支所）

災害に強い上島町を目指して

上島町総合防災訓練

5月26日(日)、上島町全域において、高知県沖を震源とする南海トラフ巨大地震が発生したという想定のもと、上島町総合防災訓練が実施されました。今年度は避難後の訓練について、各訓練単位で事前に計画を立案し自主的な取組みが行われました。各地区での訓練状況を写真でご紹介します。

あなたは自分を守れますか？

昨年の7月豪雨からまもなく一年を迎えますが、その爪痕はいまでもいたるところに残っています。温暖化のせいか、気象変動の波は激しくぶれていますが、少しでも事前に被害を想定して備えるしかないということでしょうか。

近い将来、発生が予想されている南海トラフ地震についても、自分の生命を守るためには、災害発生時に自分がどんな動きができるかにかかっているようです。

地震の大きさにより、どの時間帯に、どこにいるとき、どんな被害が予想されるのか、阪神淡路、東日本、熊本地震などのニュース映像を参考に、実際に自分の頭の中でイメージしてみてください。

絶対安全な場所などどこにもないことに気づくことでしょう。さらに、誰が頼りになるのかも考えてみてください。自分以外に本当にあてになるものはいないということに愕然とするはずです。

でも、そのことに気づきさえすれば前に進めます。いまずぐ自分のための減災行動計画を自分で立てるのです。自助計画の第一段階は被災イメージトレーニング（震度別、時間帯別、居場所別等々）から始めましょう。

町長の独白



次は、その被災イメージに基づいて、生命を守るための逃げ方計画作成（自分にとって安全な場所、複数ルート of 確保、所要時間など）です。近隣家屋の倒壊や火災の発生をどこまで想定できるかで生死が決まるはず。その次の段階としては、避難カードの作成（トリアージ参考資料：連絡先、血液型、既往症、服用薬剤等）です。被災時必需品（リストの作成、保管方法、携行手段）も重要となります。自分の生命を保つための必需品は不可欠です。無事に避難所に辿り着けたとしても水、食料、電気などは普段どおりに確保できるわけではありません。

避難する期間も不確定要素の最たるものです。避難所生活が長引いて亡くなってしまう人も多いと聞きます。

ここまで、考えただけでもゾッとするかもしれませんが、どこの被災地でもみなさん異口同音に想定外だったと言います。まさしくそれこそが災害の怖さなのでしょう。いつ、どんな風に襲い掛かってくるかわからない、それこそが大規模災害なのです。自分の生命を守れるかどうかは、すべて普段からの備えにかかっています。

「備えあれば憂いなし」、ぜひ実行してみてください。

上島町長 宮脇 馨

広報かみじま

2019年7月号 第178号



今月の表紙

昨年の広報かみじま7月号でお伝えした「あさり復活プロジェクト」は弓削土生地区でも土生海遊会があさりネットを使って継続的に取組んでいます。養殖されたあさり、今どきの子どもたちが夢中になって掘る姿は新鮮に映ります。

CONTENTS

- 2 町長の独白 / 目次
- 3 上島町総合防災訓練
- 4 健康だより
- 6 役場各課紹介 / 島おこし協力隊活動報告
- 7 LETTERS FROM SCHOOL
- 8 ALTコーナー / 観光協会だより
- 9 上島の文芸 / KAMIJIMA KITCHEN
- 10 しまなみ農業だより
- 11 消防だより
- 12 お知らせ
- 20 島々の話題
- 22 戸籍だより / 1歳の誕生日おめでとう
- 23 行事カレンダー / 潮汐表
- 24 KAMIJIMA SNAP / 潮湯だより